



WAVE!

Shingo Amamiya Narita City Report

2008.08
Vol.05

成田市議会議員
蒼成会 × 雨宮しんご

活動日記を毎日更新!! 雨宮しんご 検索 29歳

動画配信が始まりました!



成田市議会では少しずつ開かれた議会にむけて動きはじめています。今6月議会からは、インターネットによる動画配信が始まりました。インターネット上での録画動画配信(音声も入ります。)だけではなく、議会当日にライブ中継されるなど、より議会の透明性が図られます。

今後とも市民が自ら成田市のあり方を決めていくという『市民自治』の視点の下、議会改革の提言をしていくと共に、開かれた議会づくりを推進してまいります。

雨宮真吾の一般質問を動画にてご覧いただけます。
興味ございましたら、下記手順で是非ご覧ください!



<http://www.discussvision.net/naritagikai/2.html>

ご存知ですか?フィルタリング

<国民携帯電話保有率>

日本の人口...1億2777万1000人(H19.10.1)
携帯電話契約数...1億298万7200台
携帯電話加入率...80.6%

<全国平均>

小学生...31.3%
中学生...57.6%
高校生...96.0%

<成田市平均>

低学年(1・2年生)...6% 中1...47%
中学年(3・4年生)...10% 中2...62%
高学年(5・6年生)...16% 中3...65%

携帯電話は1人1台が当たり前のようになってきています。

しかし、内閣府が公表した調査によると、携帯電話でインターネットを利用している青少年のうち、「フィルタリングサービスを知っている」小学生は3.5%、中学生7.1%、高校生13.8%、保護者については父親が32.3%、母親が16.5%となっています。

また「フィルタリングサービスを使っている」小学生は1.2%、中学生0.8%、高校生1.1%と、認知度・利用率ともに低いことがわかっています。

■サイバー犯罪の検挙推移

	不正アクセス禁止法違反	コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	ネットワーク利用犯罪
H15	1649 件	55 件	145 件
H19	3918 件	113 件	1442 件

■サイバー犯罪による相談受件数

	相談受件数
H15	41,754 件
H19	73,197 件

こうしたことを背景に、ネット犯罪は年々増加、秋葉原無差別殺傷事件や掲示板への殺人・爆破の犯行予告、出会い系サイト、学校裏サイトなど、大人だけではなく、子どもにまで魔の手は広がっています。

■出会い系サイトに関連した事件の件数

	被害者数	被害児童数	検挙件数
H15	1510 人	1278 人	1743 件
H19	1297 人	1100 人	1753 件

被害者1297人のうち、18歳未満が1100人と84.8%を占め、このうち女子児童は1097人(99.7%)を占めています。出会い系サイトへのアクセス手段は、携帯電話を使用した被害児童は1100人のうち、1062人と実に96.5%を占めています。



フィルタ君

フィルタリング
利用者の意思によって、インターネット上の青少年にとって有害なウェブ情報へのアクセスを自動的に遮断することができる技術的手段で、有害サイトブロック、ウェブフィルタリングなどと呼ばれます。

雨宮しんごは、フィルタリングを促進すると共に、メディアリテラシーの育成や法整備を含めて対策する必要があると考えています。

インターネット犯罪から子どもたちを守るために...

ぜひ裏面、一般質問(要約)をご覧ください!

雨宮しんご

雨宮真吾事務所

事務所：〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
tel : 0476-27-5918 / fax : 0476-27-1051

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

- 1978年10月31日生まれ(29歳)
- 元進学予備校講師
- 最年少、過去最高得票で平成19年成田市議会議員選挙に初当選
- 建設水道常任委員会委員
- 新駅・基幹交通網整備促進特別委員会委員
- 市営住宅入居者選考委員会委員
- 廃棄物減量等推進審議会委員

出前市政報告会!

雨宮しんごは、お一人にでも多く市政の現状・問題点をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「直接、議会報告を聞きたい。」「成田市政、成田市議会に言いたいことがある。」など、報告のみにとどまることなく、ざっくばらんに市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡ください。お待ちしております!

おしらせ 6月1日より、火災警報器の設置が義務付けられました

消防法が改正され、6月1日より一般住宅にも火災警報器(火災報知器)の設置が義務付けられました。

罰則規定はございませんが、お早めに適所にお取り付けください。

なお、成田市では火災警報器を65歳以上の一人暮らし、または高齢者のみで居住、住宅を所有している方に給付していますので、ご対象者の方は、こちら併せてご検討ください。

火災警報器の給付について

設置費用

市民税非課税または均等割のみ課税の人	無料
市民税所得割課税の人	一部自己負担

～お問い合わせ先～

高齢者福祉課
電話0476-20-1537

インターネット犯罪から子どもたちを守るために

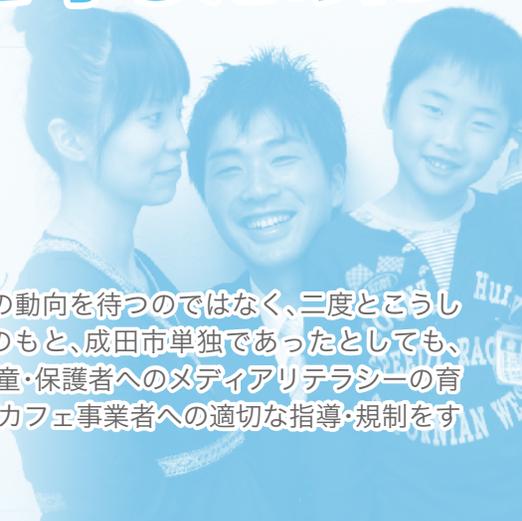
2008/05/16 06:00 削除

1. 青少年を取り巻く情報化社会についての成田市の取り組みと考え
2. ネット被害児童防止の取り組みについて(学校裏サイト・出会い系サイト)
3. フィルタリングの促進と、未成年者・保護者におけるメディアリテラシーの育成について
4. 青少年の健全育成に向けた条例制定について

今年2月27日に成田市で初めてとなる、「出会い系サイトを通じた強姦事件」が発生しました。これを受け、調査を開始したところ、県の枠組みである「青少年健全育成条例」に全国34都道府県がすでに「有害情報(フィルタリング機能導入を求めるもの等)」に関する記載がある中で、成田市がある千葉県条例にはそれすらないことがわかりました。

そこで、対応が遅れている国や県の動向を待つのではなく、二度とこうした事件を起こさないという決意のもと、成田市単独であったとしても、フィルタリングの促進といった児童・保護者へのメディアリテラシーの育成、市内5店舗あるインターネットカフェ事業者への適切な指導・規制をすよう求めました。

2008/05/15 23:56 削除



市内裏サイト

青少年を取り巻く情報化社会についての成田市の取り組みと考える

Q インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律の第5条の定めについて、市の見解と具体的対応は？
A 市民の理解を深めるために、様々な広報媒体を利用して、児童の被害防止に努めたい。

Q 市民に対して「通称：出会い系サイト規制法」周知に取り組むべきである。その具体的な方法は？
A 市の広報誌、ホームページ及び成田防犯連合会が毎月発行し、各戸回覧する「地域安全ニュース」で知らせる。

Q 周知の時期とその内容についてはどうか？
A ホームページは7月中旬に、市の広報誌と地域安全ニュースへの掲載は、8月を予定、内容はサイバー犯罪の傾向と対策、そして特に、出会い系サイトの危険性、「出会い系サイト規制法」の禁止内容、罰則等を知らせていく。

Q フィルタリングの啓発活動にも取り組むべきであると考えますが？
A 有害情報環境対策として「広報なりた」「なりきち」「まなび&ボランティアサイト」により周知を図り、家庭教育学級やPTA連絡協議会研修会を利用し啓発する。

意見
 従来以上の取り組み強化の必要性、具体的対策を訴えたところ、市当局からは前向きな答弁があり、具体的な取り組み内容についても示されました。

ネット被害児童防止の取り組みについて(学校裏サイト・出会い系サイト)

Q 学校裏サイトの存在を把握しているか？
A 裏サイトの存在は確認、学校も教育委員会も毎日チェックを行っている。しかし、総数は数が多くわからない。

Q それでは、教育委員会でチェックしている裏サイトの数はどの程度あるのか？
A 把握していない。

Q これまでネットいじめが発生したことがあるのか。また、そのときの対応は？
A 過去に2件あったが、学校と保護者、教育委員会の3者で解決にあった。

Q ネットいじめの調査を行ったことがあるか？
A いじめ調査では、平成18年度が小学校53件、中学校57件、平成19年度では定義が変わったこともあり、小学校112件、中学校87件となっている。ネット独自の調査は行っていないが、広く調査は2回行い、適宜相談員やカウンセラー、担任が対応している。

意見
 毎日チェックしているという答弁でしたが、チェックしている実数を把握していないなど、チェック体制に曖昧なところが伺えました。その意味では過去2件のネットいじめ報告も、ほんの一角に過ぎないような気がします。一定の抑止効果をはかるためにも、実数の把握と共にチェック体制の強化を図るよう引き続き求めてまいります！

フィルタリングの促進と、未成年者・保護者におけるメディアリテラシーの育成について

Q 日本には携帯電話を子どもに持たせる前の事前教育がない。学校という教育現場においても、情報モラルといった、メディアリテラシーを育成する取り組みの充実・強化を提案するが？
A 議員の指摘どおり。メディアリテラシー育成に今後一層の取り組みを図ると共に、教職員についても県警サイバーテロ対策室とも連携し、教員研修も実施、充実させる。

Q 携帯電話の使用ルールや、携帯の恐ろしさを疑似体験できるような、プログラム。専門講師、あるいは警察と連携を図って、実際にあった事件を例に講演いただくような特別授業の必要性を提案するが？
A 成田市全体で一斉にというわけにはいかないが、特に中学校の保護者が強い関心を持っていることから、県警サイバー犯罪の専門家に、事例紹介や実際に携帯を使っている指導など、各校単位で実情に応じて充実させる。

意見
 名古屋市の「情報モラルにおける指導支援コンテンツ」、石川県野々市町のプロジェクトK、また埼玉県田辺市と総務省の連携などを参考に、メディアリテラシー育成に今後一層、努めるよう訴えました。

青少年の健全育成に向けた条例制定について
Q 青少年の健全育成に向け条例化していくべきと考えますが？
A 国や県の動向をみながら市としても検討したい。

Q 条例化が困難であれば、一定の抑止効果を図るという意味でネットカフェ事業所に対し、例えば児童が来店した際には注意を促す、また店舗内に同趣旨を掲載してもらうよう、要望書を提出するなど成田市警と協力連携してできないか？
A フィルタリングソフトの活用を勧

一般質問を終えて
 様々な提案を行ってまいりましたが、曖昧模糊ではなく具体的対策の内容が示されるなど、成田市役所職員方の努力により、これまで以上の取り組みが示されました。しかし、成田市ではすでに出会い系サイトにおける事件が発生しており、裏サイトも数多く存在します。また、家庭・携帯・パソコンのフィルタリングを行ったとしても、市内5店舗あるネットカフェにはフィルタリング規制(県・市での条例がないため)がありません。その意味では、有害情報に対する取り組みは未だ満足できるものではなく、先ほどご紹介の通り、法整備という意味でも遅れていると言わざるを得ません。

意見
 条例のように法的拘束力はありますが、一定の抑止効果を図れる対策を提案したところ、協力の働きかけを行うという答弁を引き出しました。しかし、二度とこうした事件を起こさないために、せめて全国平均レベルである条例の整備は県に先んじたとしても必要ではないでしょうか？

先般のような事件を2度と引き起こさないためにも、**国や県の動向と、上ばかりを見るのではなく、ここにいる成田12万市民の方を見て、政策を行っていくべきです。**
 雨宮しんごは、これからも市民の皆さまと同じ目線で、12万市民のための政治を訴えてまいります。